



開三中の生活

『大切な落とし物をしてはいけません』

～自分でも守ろう、その命…～

夏休みのしおりの中に「夏休みの生活」というページがあります。そこには“登下校する際に注意しよう”、“交通事故に気を付けよう”、“外出の際は、自らの安全を確保しよう”、“犯罪被害等を未然に防止しよう”ということが書かれています。いずれも『命を自ら大切にしましょう』『生活も身なりも乱れないようにしましょう』ということです。

「服装の乱れは心の乱れ」ということばをよく使います。学校生活では多くの生徒が夏服を選択し、熱中症警戒アラートも発令し気温も上がりました。バッチのフェルトを付けていない生徒やシャツを出したりかかとを踏みつけたりしている生徒も目につきました。朝読書開始時間ギリギリにドタバタと教室に騒がしく駆け込む生徒が必ずいます。自分さえ良ければ、という感覚では困ります。それが授業や家庭学習の集中力、期限までの課題や提出物忘れ、先生方や仲間への言葉づかいに表れている人も多くいた気がします。



夏休みに入ると注意をしてくれる人がいません。チャイムも鳴りません。生活が乱れると周りへの「思いやり」が薄れてきます。友達同士で集まっているだけで気持ちがなぜか大きくなってしまいます。その言動の先の予測をしなくなります。そのちょっとした甘い考えや行動で命に関わる問題が生じる、ということを中心に留めておきましょう！



自分の命も、他の人の命も守る



近年、今年の1月に起こった能登半島地震や各地で起こった集中豪雨を始め、日本各地で被害に遭われた方々が大勢います。学校でも訓練を始め対策をとっていますが、地域に戻ったみなさんは自ら身を守り対応をしなければなりません。命はみんなで守りましょう。



災害に遭わないことだけが命を守ることではありません。自転車の乗り方についても注意をしてください。先日も道をふさいで移動をしている姿を見かけています。イヤホンをして周りの音が聞こえない状態での走行、スマホや携帯電話を片手に視線が画面へ向いている状態は当然危険です。また最近では加害者となってしまう、何千万という慰謝料の支払い判決決定のニュースがあります。他人事ではありません。

飛び出しや信号無視など交通ルールは絶対に守りましょう！

火遊びで紙切れを燃やただけで、火の手が回り大事件になった火災のケースが情報として入ってきます。身なりが派手になり、肌の露出が多いためによからぬ声をかけられたり、軽いイメージをもたれてトラブルに巻き込まれてしまいます。また、水や水辺での事故にも注意しましょう。水泳授業でも危険性を確認をしていますが、たった膝下の水位でも死亡事故につながるニュースを夏になると聞きます。「まだ大丈夫」が危険です、細心の注意をしましょう。その他にもたくさんのお金を所持しての外出や夜遊びとあれもこれも注意しなさいと言えはきりがありません。**それだけ皆さんが大切なのです。**

『人間フィルタリング』のできない中学生には扱いが難しい…

現在、学校内外で起きているトラブルの原因の多くが、スマホやSNSを介してのものです。

家族や親に干渉されずに、いつでも世界中の人たちとコミュニケーションができる。顔も名前も知らない人と友達になれる。話ができる。会う約束ができる。学校で話せなかったことや、直接言えなかったことが気軽に言える。中学生にとっては面白いツールでしょう。しかしその裏には危険がたくさん！本当はそんな気もないのに、その場の感情やノリで書き込んだ内容がネット上に残ります。慌てて削除してもそのコメントがすでにコピーされて出回っています。<セーフティ教室で学びましたよね！>

当事者だけでなく無関係な人間までもがその会話をのぞき見でき、興味本位で参加することができてしまいます。安易な気持ちで書き込んだ言葉が相手に大きな傷を負わせ、友人とのトラブルの種になったり、“ネットいじめ”に発展したりします。当然、悪い考えを持つ人を引き寄せる危険もあります。それ以外にもYouTubeに個人情報たっぷりの動画をアップする。携帯ゲームに依存してお金の感覚がマヒする。判断力の無い小中学生をだまそうとする悪い大人が仕掛けるワナにかかり、恐怖で誰にも相談できなくなる。お風呂に入るとき以外は手放せなくなる。そして、**学生の本分である勉強に全く実に入らなくなる。**



生徒の皆さん、「安全のため」「中学生になるから」「テストを頑張ったから」といって、親にねだって**“保護者に借りている”** スマホが、みなさんの人間的な生活や体験を奪っていませんか？ 普段学校でちゃんと話ができる仲間、まともな付き合いのできる相手と正しい使い方をすべきです。

人間は「表情を見て」「目を見て」「温度を感じて」会話を楽しむものだと思います。面と向かって言えないことは、LINE上でも言ってはいけません。

些細なこと、バレなければ大丈夫、見つかっていないから、自分(達)さえ楽しければ・・・地域へ戻っても、社会でもみなさんは**“集団の一員”**、“地域の一員”です。充実した楽しい夏休みにするために、**大切な命を落とさぬよう安全に気をつけて生活してください。** 開二中生全員がひとまわり成長した表情で、9月2日の始業式で全員に会えるのを楽しみにしています！！

平成28年10月5日発行

開二中 十の約束

この10の約束は、開進二中の生徒に守ってもらいたいスマホ等利用に関するSNSルールです。以下のルールをスタンダード（目安）として、家庭ごとに具体的なルールを決めてください。生徒が自ら宣言し、きちんと守れるよう目につく所に貼っておきましょう。また、守れないときの約束も決めておき、定期的に家族で話し合い「ルールの見直し」をしていきましょう。

- 1 スマホなどの使用は22時までにし、学習の時間と就寝前には保護者に預けます。
- 2 知らない人とはつながらないようにします。
- 3 自分や他人の個人情報（写真・名前等）はのせません。
- 4 友だちの悪口や仲間はずれの道具にはしません。
- 5 無断でアプリのダウンロードや課金はしません。
- 6 有害サイトなどにアクセスできないようフィルタリングをかけます。
- 7 T(時間)・P(場所)・O(場面)をわきまえて、会話を大切にします。
- 8 求められたら、いつでも保護者に見せます。
- 9 困ったことがあったら、何でもすぐに相談します。
- 10 約束を守れないときは、保護者に返上します。



※「スマホなど」には、スマートフォンだけでなく、その他のインターネットに接続できる機器（テレビ、パソコン、タブレット、ゲーム機、携帯型音楽プレーヤー、携帯電話）のすべてを含みます。

※「個人情報」は、名前・写真だけでなく、住所、電話番号、メールアドレス、SNSのIDなど個人を特定できる情報すべてを含みます。

【保護者の皆様】

お子様達は、もう「中学生だから」と考えたい年頃ですが、まだ中学生です。背伸びもしたい時期ですし、はやりの情報にも興味をもちます。だからこそ命の大切さ、安全な暮らし、幸せな時間を過ごせることを大切にしたいものです。そのためには家族が側にいること、仲間が必要なことを改めてご家庭でお話をする夏休みにしていただきたいと思います。そして、お子様の変容が気になり始めましたらご連絡ください。

また不審者による被害、その他の事件・事故等があった場合には、直ちに警察へ連絡してください。

練馬警察署 3994-0110 開進第二中学校 3993-1348

～ 家庭と地域と学校とでお子様の成長と安全を見守っていきましょう ～